

平成24年度第14回震災復興推進本部会議 審議・報告

提出日：平成24年10月11日

担当部・課：震災復興部復興住宅課〔内線5555〕

①件名	石巻市災害公営住宅地区別整備計画について
②施策等を必要とする背景及び目的（理由）	災害公営住宅入居意向調査結果に基づき、市全体の供給戸数4,000戸について、地区別の整備戸数を定めることにより、効率的かつ効果的な災害公営住宅の整備を図る。
③根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性	【根拠法令】 【震災復興基本計画との整合性 基本計画の位置付け： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無】又は【個別計画との整合性】
④提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）	災害公営住宅の整備を進めるにあたり、地区別の整備戸数の目標を定める必要性がある。 ・平成24年6～8月 防災集団移転対象者への個別面談会の実施。（平成24年8月、9月公表済） ・平成24年8月 災害公営住宅の入居に関する意向調査
⑤主な内容	全体戸数4,000戸のうち市街地部の3,270戸について、市街地を6エリアに分割し、エリア毎に整備目標戸数を設定し、今後の整備方針とするもの。
⑥実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）	・本方針を定めることにより、市域の均衡ある公営住宅の整備が図られる。 ・本方針を定めることにより、被災した住民の住宅再建に関する参考に資することができる。
⑦他の自治体の政策との比較検討	—
⑧今後の予定及び施行予定年月日	本計画を基に、災害公営住宅整備を進めるほか、買取制度における公募戸数を検討する。
⑨その他	

石巻市災害公営住宅地区別整備計画について

災害公営住宅地区別整備計画について、平成24年6月～8月に実施した入居意向調査の結果を基に次の通り定める。

- ① 全体整備戸数について、市内の災害公営住宅への入居希望実数は、約3,600世帯であったが、未回答世帯が約4,800世帯あることから、当面の整備目標は引続き4,000戸とする。
- ② 今回の意向調査結果による入居希望地域とまちづくり政策を考慮し、地区別整備計画戸数を次の表の通り定める。

【地区整備計画戸数】

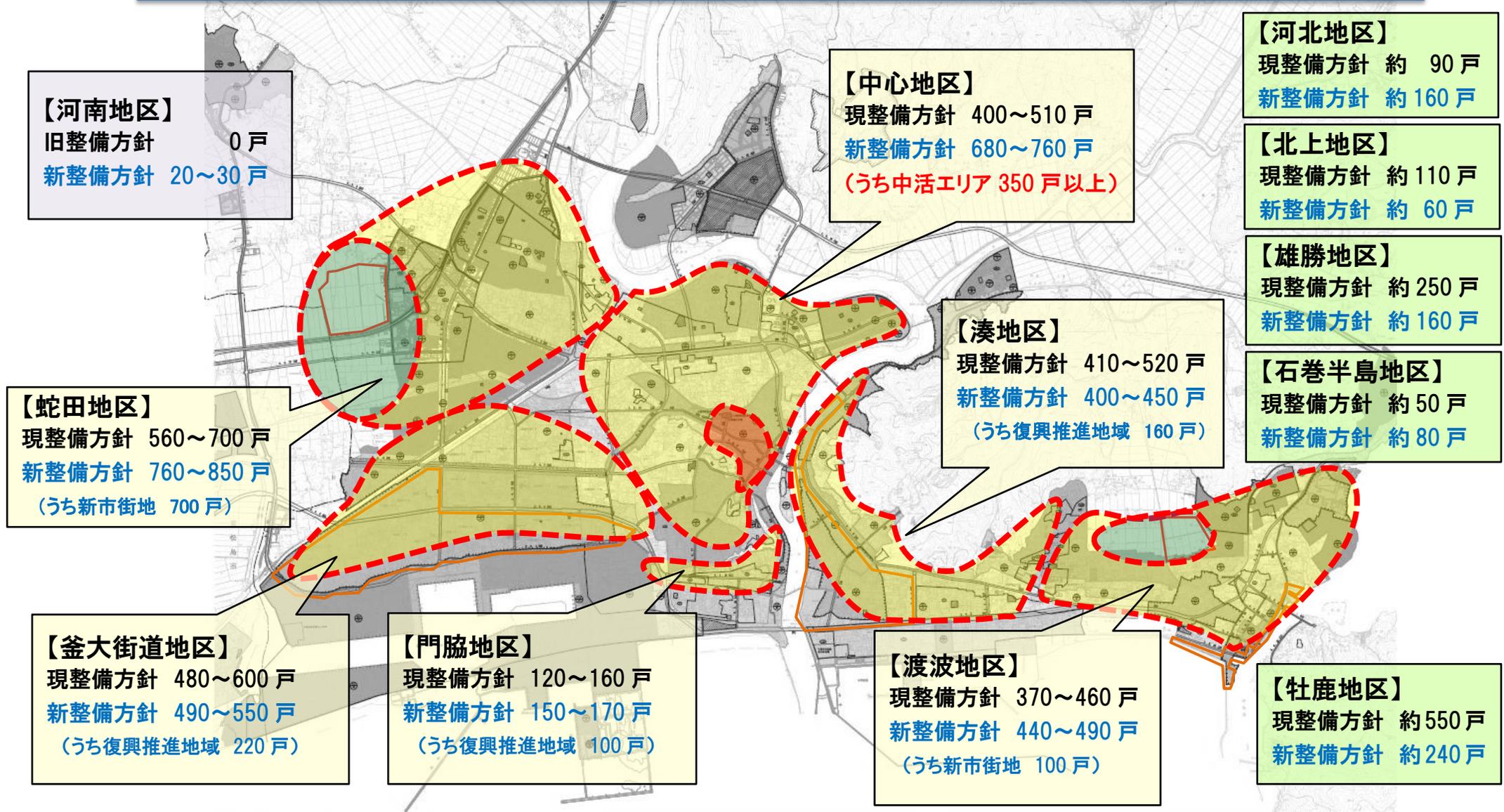
地区	整備計画戸数	整備計画戸数 (8月発表暫定)	増減 (最大)
蛇田地区	760～850 戸	560～700 戸	150 戸
釜大街道地区	490～550 戸	480～600 戸	▲50 戸
中心地区	680～760 戸	400～510 戸	250 戸
門脇地区	150～170 戸	120～160 戸	10 戸
湊地区	400～450 戸	410～520 戸	▲70 戸
渡波地区	440～490 戸	370～460 戸	30 戸
市街地計	2,920～3,270 戸	2,340～2,950 戸	320 戸
河南地区	20～30 戸	0 戸	30 戸
半島部 (河北地区含む)	700 戸	1,050 戸	▲350 戸

※ 半島部 700 戸については、主に防災集団移転促進事業と合わせて災害公営住宅を整備する。

- ※ まちづくり政策
- ① 中心市街地の活性化
 - ② 地域のバランス考慮

本格的な入居については、平成26年度以降となり、最終的な整備戸数は、未回答者の意向を把握し、今後見直すこととする。

災害公営住宅地区別整備計画戸数



地区名	蛇田	釜大街道	中心	門脇	湊	渡波	市街地合計	河南	石巻半島	河北	北上	雄勝	牡鹿	半島部合計	合計
最大戸数	850戸	550戸	760戸	170戸	450戸	490戸	3,270戸	30戸	80戸	160戸	60戸	160戸	240戸	700戸	4,000戸